

# 昭和六十二年

## まちづくり設計競技

### 募集概要

住宅生産振興財団はまちづくり月間実行委員会と共同主催し、下記のように「まちづくり設計競技」を開催しております。詳細は「昭和62年度まちづくり設計競技募集要領」をご覧ください。ご希望の方は当財団までハガキでお申し込みください。

住宅生産振興財団

趣旨 住民一人ひとりが生きること

喜びと生きがいを感じる生活空間を形成するためには、地域に根ざし、創意と工夫を生かしたまちづくりの推進が必要です。このため、質の高い特色のあるまちづくりについての提案を求めることにより、まちづくりに対する関心を高め、まちづくりの水準の向上を図る。

主催 まちづくり月間実行委員会

(財)住宅生産振興財団

後援 建設省、住宅・都市整備公団

事務局 (財)住宅生産振興財団

募集内容

第一部門 昭和六十二年度まちづくり

### 設計競技

第二部門 昭和六十二年度まちなみ改善提案競技

### 善提案競技

### スケジュール

(1) 第一部門応募登録期間

昭和六十二年七月一日～九月三十日

(2) 応募作品提出期間

昭和六十三年二月一日～二月十五日

(3) 入選発表 昭和六十三年三月

(4) 表彰 昭和六十三年六月

審査委員長 芦原義信 (武蔵野美術大学)

学教授)

審査委員 井手久登 (東京大学教授)

大高正人 (建築家) 片山正夫 (建設省住宅局長) 木村治美 (エッセイ

ス)

ト) 陣内秀信 (法政大学助教授)

鈴木昌道 (造園家) 高橋徹 (建設省

建築研究所長) 巽和夫 (京都大学教

授) 半田富久 (彫刻家) 宮脇檀 (建

築家) 望月積 (東京芸術大学助教授)

飯内幸雄 (住宅・都市整備公団理事)

依田和夫 (建設省大臣官房技術審議

官)

賞 昭和六十一年度と同じ。

## 第一部門

グリーンタウン武蔵村山

まちづくり設計競技

課題 「多様な形式をもった戸建住宅

地の設計競技」

いま、若年層や高齢者層等の多様

な家族構成をもった人達が集まってく

る住環境が望まれています。また日常

生活における価値観の多様化となら

ず。今回の立地は、大都市の郊外で比

較的余裕があり低層で広い庭をもった

空間の中で、多様な形式をもった良好

な住環境を創造するモデルケースの提

案をもとめています。

立地条件

グリーンタウン武蔵村山は、東京都

心部より西方三十七キロ、西武拝島線

「西武立川駅」より北方約三・五キロ、

JR東日本青梅線「昭島駅」より北方

約四・七キロに位置しています。グリ

ーンタウン武蔵村山は、面積約二十一

ヘクタール、計画人口約三千五百人、



- 注) 1. B2ブロック(計画敷地)で囲った部分)
- 2. B1・C1・C2・C3各ブロック (住宅・都市整備公団建設予定地)
- 3. C4(センター「商業施設」計画予定地)
- 4. E1ブロック(入居済み)
- 5. ♀ (バス停留所)
- 6. 白地(民地 一部建築済み)

(図1) 敷地相互関係概念図)

住むデザイン・生きるアイデアで新しい街並みを！  
**'87まちづくり設計/提案競技**



募集要項

**第1部門 まちづくり設計競技**

**第2部門 まちなみ改善提案競技**

主催 まちづくり月間実行委員会、財住宅生産振興財団 後援 建設省、住宅・都市整備公団

計画戸数約八百戸、昭和五十七年から開発されている新住宅地です。西南方向には横田基地があります。今回の課題地は、このグリーンタウン武蔵村山の北部の住区に位置しております。

**敷地条件**

敷地は低層住宅用として計画されているB<sub>2</sub>ブロックです。(図参照)  
 所在地 東京都武蔵村山市大字岸字中原

敷地面積 約二万八千五百八十平米  
 地域地区 第一種住居専用地域・第一種高度地区 建ぺい率三十パーセント、容積率六十パーセント

**設計条件**  
 住宅 戸建住宅約百戸

戸当り延べ面積約八十〜百六十平米の規模の範囲で、充実した余暇生活に対応した多様な形式の住宅(例、ホビールーム、二台駐車場設置等)、三世帯住宅、高齢者向住宅、近居世代向住宅(親子世帯が近くに住む住宅)等を計画して下さい。  
 分譲住宅を想定して下さい。

外周車道への接続、集会所(百平米程度)、ゴミ置場、駐車スペースなど考慮して下さい。  
**計画上の配慮事項**

- ・B<sub>2</sub>ブロックの敷地に接する民地及び児童公園と当該敷地相互間のプライバシーを確保し、良好な景観を形成するよう計画して下さい。
- ・児童公園と当該敷地間に有機的な土地利用関係が保たれるよう計画して下さい。
- ・C<sub>4</sub>ブロックのセンター地域周辺とのつながりを有機的にし、また良好な町並景観に配慮して下さい。
- ・計画された良好な住宅環境が将来にわたっても維持されるよう管理ソフトについても配慮して下さい。(例、建築協定等)

**応募設計図書**

- 全体計画図 五百分の一
- B<sub>2</sub>ブロック部分図
- 配置図 二百分の一
- 各階平面図 二百分の一
- 立面図 二百分の一

計画諸元 土地利用計画、住宅計画  
 その他自由表現を含み、計画上・構法上の工夫の要点を適宜図面に記入するものとします。  
 以上をA1判二枚に横使いでまとめて下さい。

なお、原稿用紙に設計主旨を四百字以内で書いて下さい。  
 スケジュール  
 応募登録期間

六十二年七月一日(水)〜九月三十日(水)  
 質疑受付期間  
 六十二年九月一日(火)〜九月三十日(水)  
 質疑応答書発送  
 六十二年十月二十三日(金)  
 応募図書提出期間  
 六十三年二月一日(月)〜二月十五日(月)  
 なお、登録申込書は「募集要領」についています。質疑は文書によることとし、電話等による問合せには応じられません。

**第二部門**

**まちなみ改善提案競技**

**課題**

身近なまちづくりを推進するためには、普段なげなく通り過ぎたり、散策の場としている「まちなみ」の景観や機能を、良好な方向へ改善・誘導することも重要だと考えられます。このため、現存する「まちなみ」「いえなみ」を選び、より快適でうるおいのあるまちなみ空間へと改善していくためのアイデアを求めます。広く市民の立場からの自由な発想を期待します。  
 地区設定等は自由です。  
 なお、応募図書、応募方法などについては「募集要領」をご覧ください。